

会津大学短期大学部

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		会津大学短期大学部(学科等の課程)		設置者名		公立大学法人会津大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(令和2年度)			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
短期大学部	幼児教育学科	平成28年度	50人	幼二種免	平成28年度	50人	47人	47人	20人
入学定員合計			50人	合計		50人	47人	47人	20人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和3年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和4年1月18日（火曜日）

実地視察大学：会津大学短期大学部

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されているものの、教育課程について一部再検討いただきたい点を確認された。今後、必要な措置を講じ、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織に取り組んでいる姿勢は評価できる。今後、より一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「領域に関する専門的事項」の科目の教授内容に関し、複数の授業科目の一部の授業回で「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」で教授すべき内容が含まれていることが確認された。免許法施行規則に定める事項の趣旨に照らし、領域の専門的知識を深化させる内容となるよう検討するとともに、シラバスで明確に示すこと。
- 「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」における情報機器の活用について、保育者が情報機器を活用するという観点だけでなく、子ども自身が学びのツールとして情報機器を活用することも視野に入れてシラバスを再検討し、明確に示すこと。

3. 教育実習の取組状況

- 原則母園実習は行わず、ほぼ全ての教育実習を県内の幼稚園・こども園等で行い、担当教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている点は評価できる。引き続き、地元教育委員会や幼稚園・こども園等との連携を進め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教員養成カリキュラム委員会を組織し、ゼミ担任制を設けるなど、小規模校である利点を生かし、きめ細やかな教職指導に取り組んでいる姿勢は評価できる。今後は履修カルテの改訂も含め、より積極的に教職指導に活用する方策について引き続き検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 早い段階から保育所・幼稚園への体験学習や、インターンシップが行われており、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後も学生に積極的に履修を推奨するとともに、地元の教育委員会・幼稚園等との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 図書館の閲覧スペース・学習スペースをラーニングコモンズのように活用できるよう整備されており、また、絵本コーナーを設置するなどの工夫が見られた。教職関連図書・雑誌については、教職を志す学生が、教育に関する最新の情報を入手することができるよう引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- ICT 機器については、教育方法をさらに充実させていくため、引き続き環境の整備・充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 自由科目で社会福祉士関係の科目を設定するなど、2年の養成期間で大学の特色を生かした教員養成に積極的に取り組んでいる点は評価できる。